

取得できる免許状の種類・教科と取得しやすい学系

学部卒業に必要な単位の修得のほかに、教科及び教職に関する授業科目を修得することにより、次の教員免許状が授与されます。

なお、理工学部では、理工学科 1 学科の大学科制を導入し、5 学系・15 コースを設置しています。

自分が所属する学系から選択する「主コース」、自分が所属する学系または自分が所属する学系以外の学系から選択できる「副コース」の組み合わせにより、取得しやすい教員免許状の種類・教科が異なります。

それぞれの教員免許状の種類・教科が取得しやすい学系は、主に下表のとおりとなります。

基礎資格	免許状の種類	免許の教科	左記免許状が取得しやすい学系
学部卒業	中学校教諭 一種免許状	数 学	理学系、情報システムデザイン学系
		理 科	理学系、生命理工学系
	高等学校教諭 一種免許状	数 学	理学系、情報システムデザイン学系
		理 科	理学系、生命理工学系
		情 報	理学系、情報システムデザイン学系 電子・機械工学系
		工 業	電子・機械工学系、建築・都市環境学系

履 修 要 件

免許法に基づき本学部で免許状を取得するための最低単位数は、次のとおりです。

(1) 本学部における最低修得単位数

免許の種類	基礎資格	教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	合計
中学校教諭 一種免許状	学士の学位	20	35	4	59
高等学校教諭 一種免許状	学士の学位	20	27	12	59

注) 基礎資格とは、学士の学位を有することであり、本学部を卒業することにより得られます。

(2) 文部科学省が定める科目

教職に関する科目、教科に関する科目の他に、人間形成科目群・学部共通科目群・英語科目群より**日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、情報機器の操作2単位**の8単位を必ず修得しなければなりません(人間形成科目群、学部共通科目群・英語科目群の科目配当表の教職コード欄参照)。

文部科学省が定める科目	必要単位	教職コード	本学での該当科目 ()内は、単位数
「日本国憲法」	2	00100	日本国憲法(2)
「体育」	2	00200	体育Ⅰ(1)、体育Ⅱ(1)、体育Ⅲ(1)、体育Ⅳ(1)、体育Ⅴ(1)、体育Ⅵ(1)
「外国語コミュニケーション」	2	00300	ドイツ語入門Ⅰ(1) 英語ⅠA(1) ドイツ語入門Ⅱ(1) 英語ⅠB(1) 基礎ドイツ語Ⅰ(1) 英語ⅡA(1) 基礎ドイツ語Ⅱ(1) 英語ⅡB(1) 初級ドイツ語Ⅰ(1) 英語ⅢA(1) 初級ドイツ語Ⅱ(1) 英語ⅢB(1) フランス語入門Ⅰ(1) 英語ⅣA(1) フランス語入門Ⅱ(1) 英語ⅣB(1) 基礎フランス語Ⅰ(1) 英語ⅤA(1) 基礎フランス語Ⅱ(1) 英語ⅤB(1) 初級フランス語Ⅰ(1) 初級フランス語Ⅱ(1) 中国語入門Ⅰ(1) 中国語入門Ⅱ(1) 基礎中国語Ⅰ(1) 基礎中国語Ⅱ(1) 初級中国語Ⅰ(1) 初級中国語Ⅱ(1)
「情報機器の操作」	2	00400	情報処理A(2)

(3) 教科に関する科目

教科に関する科目については、科目配当表の教職コード欄に免許法上の区分が記載されています。下記の表は区分ごとにまとめたものです。(2017年4月1日現在)

数学(中学校一種・高校一種)

下記の区分ごとにそれぞれ1単位以上、計20単位以上(教職に関する科目と合計して59単位以上)修得すること。()内は単位数

免許法上の区分	教職コード	理学系配当科目	情報システムデザイン学系配当科目
代数学	20100	○基礎線形代数学A(2)※ 応用線形代数学(2) 基礎線形代数学B(2)※ 代数入門(2) 線形代数学I(2) 代数学II(2) 線形代数学II(2) 代数学III(2) 代数学I(2) 代数学IV(2) 代数学I演習(1)	○基礎線形代数学A(2)※ 基礎線形代数学B(2)※ 情報・符号理論(2)
幾何学	20200	位相空間I(2) 位相空間II(2) 位相空間I演習(1) 幾何学II(2) ○幾何学I(2) 幾何学III(2)	○数理とデザイン(2) 幾何学I(2) 幾何学II(2)
解析学	20300	○基礎微積分学A(2)※ 解析学IV(2) 基礎微積分学B(2)※ 常微分方程式(2) 解析学I(2) 常微分方程式演習(1) 解析学I演習(2) 複素解析学I(2) 解析学II(2) フーリエ解析入門(2) 解析学II演習(2) 関数解析学(2) 解析学III(2) 偏微分方程式(2) 解析学III演習(2) 複素解析学II(2)	○基礎微積分学A(2)※ 基礎微積分学B(2)※ 動的システム(2)
「確率論、統計学」	20400	○確率論(2) 統計学(2)	○基礎確率論(2) 多変量解析(2) 統計学I(2) 確率ネットワーク(2) 統計学II(2)
コンピュータ	20500	○数理プログラミングI(2) 離散数学(2) 画像解析(2)	情報数学(2) コンピュータ基礎II(2) アルゴリズムとデータ構造I(2) コンピュータグラフィックス(2) ○コンピュータ基礎I(2)

○の科目は、必ず履修し修得すること。

※の科目は、学部共通科目から履修すること。

■の科目は、理学系から履修すること。

理科（中学校一種）

下記の区分ごとにそれぞれ1単位以上、計20単位以上（教職に関する科目と合計して59単位以上）修得すること。（ ）内は単位数

免許法上の区分	教職コード	理学系配当科目		生命理工学系配当科目	
物理学	30100	○物理学A(2)※ 物理学B(2)※ 計測と分析(2) 熱力学(2) 統計力学Ⅰ(2) 量子力学Ⅰ(2) 量子力学Ⅱ(2) 力学(2)	電磁気学(2) 物理数学(2) 連続体の物理(2) 統計力学Ⅱ(2) 量子力学Ⅲ(2) 物性論Ⅰ(2) 物性論Ⅱ(2)	○物理学A(2)※ 物理学B(2)※	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30200	○基礎物理学実験(2)※ 物理学実験(2)	物理学課題探求Ⅰ(2) 物理学課題探求Ⅱ(2)	○基礎物理学実験(2)※	
化学	30300	○化学A(2)※ 化学B(2)※ 量子化学(2) 生命の化学(2) 基礎有機化学(2) 有機化学Ⅰ(2) 無機化学Ⅰ(2) 材料化学(2) 反応速度論(2)	分子分光化学(2) 化学熱力学(2) 有機化学Ⅱ(2) 界面化学(2) 無機化学Ⅱ(2) 高分子科学(2) 電気化学(2) 有機合成化学(2)	○化学A(2)※ 化学B(2)※ 生命科学入門(2) 生命の化学(2) 基礎有機化学(2) 生化学(2) 有機化学Ⅰ(2) 生命物理化学(2)	有機化学Ⅱ(2) 無機化学Ⅰ(2) 生命分析化学(2) 生体高分子科学Ⅰ(2) 電気化学(2) 再生医化学(2) 有機合成化学(2)
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30400	○基礎化学実験(2)※ 化学実験A(2)	化学実験B(2) 化学実験C(2)	○基礎化学実験(2)※	
生物学	30500	生物学(2)※ ○生物学(2) 微生物学(2) 応用微生物学(2)		細胞の科学(2) 環境生命工学(2) ○生物学(2) 遺伝学(2) 分子生物学(2) 植物生理学(2) 微生物学(2) 免疫学(2)	生体組織学(2) 遺伝子工学(2) 薬理学(2) 細胞工学(2) 応用微生物学(2) 生物反応学(2) 生物科学(2)※
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30600	●生命理工学実験Ⅰ(2) ●生命理工学実験Ⅱ(2)		●生命理工学実験Ⅰ(2) ●生命理工学実験Ⅱ(2) 生命科学実験Ⅰ(2)	生命科学実験Ⅱ(2) 生物環境実験Ⅰ(2) 生物環境実験Ⅱ(2)
地学	30700	環境科学(2)※ ○生態地球科学(2)		環境科学(2)※ ○生態地球科学(2)	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	30800	○地学実験(2)		○地学実験(2)	

○の科目は、必ず履修し修得すること。

●の科目は、どちらか1科目を必ず履修し修得すること。

※の科目は、学部共通科目から履修すること。

■の科目は、生命理工学系から履修すること。

理科（高等学校一種）

下記の区分ごとにそれぞれ1単位以上、計20単位以上（教職に関する科目と合計して59単位以上）修得すること。（ ）内は単位数

免許法上の区分	教職コード	理学系配当科目		生命理工学系配当科目	
物理学	30100	○物理学A(2)※ 物理学B(2)※ 計測と分析(2) 熱力学(2) 統計力学Ⅰ(2) 量子力学Ⅰ(2) 量子力学Ⅱ(2) 力学(2)	電磁気学(2) 物理数学(2) 連続体の物理(2) 統計力学Ⅱ(2) 量子力学Ⅲ(2) 物性論Ⅰ(2) 物性論Ⅱ(2)	○物理学A(2)※ 物理学B(2)※	
化学	30300	○化学A(2)※ 化学B(2)※ 量子化学(2) 生命の化学(2) 基礎有機化学(2) 有機化学Ⅰ(2) 無機化学Ⅰ(2) 材料化学(2) 反応速度論(2)	分子分光化学(2) 化学熱力学(2) 有機化学Ⅱ(2) 界面化学(2) 無機化学Ⅱ(2) 高分子科学(2) 電気化学(2) 有機合成化学(2)	○化学A(2)※ 化学B(2)※ 生命科学入門(2) 生命の化学(2) 基礎有機化学(2) 生化学(2) 有機化学Ⅰ(2) 生命物理化学(2)	有機化学Ⅱ(2) 無機化学Ⅰ(2) 生命分析化学(2) 生体高分子科学Ⅰ(2) 電気化学(2) 再生医化学(2) 有機合成化学(2)
生物学	30500	生物学(2)※ ○生物学(2) 微生物学(2) 応用微生物学(2)		細胞の科学(2) 環境生命工学(2) ○生物学(2) 遺伝学(2) 分子生物学(2) 植物生理学(2) 微生物学(2) 免疫学(2)	生体組織学(2) 遺伝子工学(2) 薬理学(2) 細胞工学(2) 応用微生物学(2) 生物反応学(2) 生物科学(2)※
地学	30700	環境科学(2)※ ○生態地球科学(2)		環境科学(2)※ ○生態地球科学(2)	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30200	○基礎物理学実験(2)※ 物理学実験(2)	物理学課題探求Ⅰ(2) 物理学課題探求Ⅱ(2)	○基礎物理学実験(2)※	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30400	○基礎化学実験(2)※ 化学実験A(2)	化学実験B(2) 化学実験C(2)	○基礎化学実験(2)※	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30600	●生命理工学実験Ⅰ(2) ●生命理工学実験Ⅱ(2)		●生命理工学実験Ⅰ(2) ●生命理工学実験Ⅱ(2) 生命科学実験Ⅰ(2)	生命科学実験Ⅱ(2) 生物環境実験Ⅰ(2) 生物環境実験Ⅱ(2)
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	30800	○地学実験(2)		○地学実験(2)	

○の科目は、必ず履修し修得すること。

●の科目は、どちらか1科目を必ず履修し修得すること。

※の科目は、学部共通科目から履修すること。

■の科目は、生命理工学系から履修すること。

情報（高等学校一種）

下記の区分ごとにそれぞれ1単位以上、計20単位以上（教職に関する科目と合計して59単位以上）修得すること。（ ）内は単位数

免許法上の区分	教職コード	理学系配当科目	情報システムデザイン学系配当科目
情報社会及び情報倫理	60100	数理情報学入門(2) ○情報と倫理(2) 技術者倫理(2)※	情報システムデザイン概論(2) 技術者倫理(2)※ ○情報社会学入門(2)
コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	60200	○数理プログラミングⅡ(2)	基本情報処理技術(2) コンピュータサイエンス実験(2) 数値解析学(2) ○コンピュータプログラミングⅠ・同演習(3) コンピュータ設計学(2)
情報システム(実習を含む。)	60300	データ科学(2) ○数理情報学基礎演習(2)	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ(2) ソフトウェア工学(2) 数理最適化入門(2) ○コンピュータプログラミングⅡ・同演習(3) オペレーティングシステム(2) オブジェクト指向プログラミング(2) データベース(2)
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	60400	○情報論(2)	情報伝送工学(2) 応用 Java プログラミング(2) ○情報ネットワーク概論(2) ネットワークプログラミング(2) ワイヤレスネットワーク(2)
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	60500	○画像処理(2) 人工知能(2) 数理情報学応用演習(2)	○造形デザイン入門(2) CGプログラミング(2) 知識と推論(2) インタラクティブデザイン論(2) 組み込みシステム(2) 論理プログラミング(2) 画像工学(2)
情報と職業	60600	情報と職業入門(1) 情報と職業(2)	情報と職業入門(1) 情報と職業(2)

免許法上の区分	教職コード	電子・機械工学系配当科目	
情報社会及び情報倫理	60100	○情報と倫理(2)	技術者倫理(2)※
コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	60200	応用数値解析(2) 信号処理工学B(2)	信号処理工学A(2) ○コンピュータ工学Ⅰ(2)
情報システム(実習を含む。)	60300	計算機工学(2)	電子情報回路B・演習(3) ○電子情報回路A・演習(3)
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	60400	○情報論(2) 通信工学(2)	電子情報実験Ⅰ(2)
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	60500	○コンピュータ工学Ⅱ(2)	電子情報実験Ⅱ(2)
情報と職業	60600	情報と職業入門(1)	情報と職業(2)

○の科目は、必ず履修し修得すること。

※の科目は、人間形成科目から履修すること。

■の科目は、理学系から履修すること。

工業（高等学校一種）

下記の区分ごとにそれぞれ1単位以上、計20単位以上（教職に関する科目と合計して59単位以上）修得すること。（ ）内は単位数

免許法上の区分	教職コード	建築・都市環境学系配当科目		
工業の関係科目	70100	○建築・都市環境学へのアプ0-F(2) ○建築・都市デザイン概論(2) 工学のための数学Ⅰ(2) 基礎統計学(2) 工学のための数学Ⅱ(2) 計画数理(2) プログラミング演習Ⅰ(2) プログラミング演習Ⅱ(2) 静力学(2) 応用力学A・演習(3) 応用力学B(2) 鉄筋コンクリート工学(2) 鋼構造学(2) 構造実験(1) 地盤工学A・演習(3) 地盤工学B(2) 土質実験(1) 流れの科学(2) 水理学A・演習(3) 水理学B(2)	水文学(2) 水理実験(1) 建設材料学(2) 材料実験(1) 建設施工法(2) 道路工学(2) 測量学・演習(3) 測量実習(2) リモートセンシング(2) 空間情報工学(2) 建築都市デザイン演習Ⅰ(3) 建築都市デザイン演習ⅡA(2) 建築都市デザイン演習ⅡB(2) 建築都市デザイン演習ⅢA(2) 建築都市デザイン演習ⅢB(2) 水圏の環境(2) 気圏・地圏の環境(2) 都市衛生工学(2) 環境アセスメント(2) 生物圏の環境(2)	景観デザイン(2) 防災工学(2) 都市計画(2) 交通計画(2) 建設マネジメント(2) 河川・海岸計画(2) 都市プロジェクトの評価(2) 建築法規(1) ランドスケープデザイン(2) 住居論(2) 建築計画学(2) 建築史(2) 建築設備(2) 建築デザイン論(2) 建築環境工学(2) 耐震設計法(2) 建築構法(2) 建築構造学(2) 情報処理B(2)※
職業指導	70200	○職業指導(4)		

免許法上の区分	教職コード	電子・機械工学系配当科目		
工業の関係科目	70100	○電子・機械工学概論(2) 電気回路Ⅰ・演習(3) 電気回路Ⅱ・演習(3) ○電磁気学Ⅰ・演習(3) 電磁気学Ⅱ・演習(3) 材料力学Ⅰ・演習(3) 材料力学Ⅱ・演習(3) 基礎力学Ⅱ・演習(3) 流体力学Ⅰ・演習(3) 工業数学Ⅰ(2) 工業数学Ⅱ(2) 生体工学(2) 機械要素Ⅰ(2) 機械要素Ⅱ(2) 工業熱力学・演習(3)	形状創成学・演習(3) 流体力学Ⅱ・演習(3) 構造・機能材料学(2) 材料変形学(2) 自動車工学(2) 過渡現象(2) ○制御工学Ⅰ・演習(3) 制御工学Ⅱ・演習(3) 電子制御機械工学(2) 機械計測(2) パワーエレクトロニクス(2) エネルギー変換工学(2) 電気・電子計測工学(2) デジタル回路(2)	先端エレクトロニクス概論(2) 電子物理学(2) 基礎製図(2) 機械工学実験・実習Ⅰ(1) 機械工学実験・実習Ⅱ(1) 機械工学実験・実習Ⅲ(1) 機械工学実験・実習Ⅳ(1) 機械設計製図Ⅰ(1) 機械設計製図Ⅱ(1) 機械設計製図Ⅲ(1) 機械設計製図Ⅳ(1) 電子工学基礎実験Ⅰ(2) 電子工学基礎実験Ⅱ(2) 情報処理B(2)※
職業指導	70200	○職業指導(4)		

○の科目は、必ず履修し修得すること。
※の科目は、学部共通科目から履修すること。

(4) 教職に関する科目

教職に関する科目とは、教職課程を履修する学生のために特設した科目で、下記の科目が設置されています。中学校免許は下記の科目の中から、必修科目を含めて 35 単位、高校免許は最低 27 単位修得することになります。(教科教育法は、当該教科のみの修得)。() 内は単位数

免許法上の区分			単位数	教職コード	授業科目名	備考
欄	科目	各科目に含める必要な事項				
第一欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等	2	10100	教職入門(2)	中学・高校免許必修科目
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	10200	教育学概論(2)	中学・高校免許必修科目
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学(2)	中学・高校免許必修科目
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教育社会学(2)	中学・高校免許必修科目
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中学校 15 高校 9	10300	教育課程論(2)	中学・高校免許必修科目
		特別活動の指導法			特別活動論(1)	中学・高校免許必修科目
		教育の方法及び技術			教育の方法と技術(2)	中学・高校免許必修科目
		各教科の指導法			数学科教育法 A(2)	中学校免許は当該教科の教育法 A、B、指導法 A、B 必修、 高校免許は当該教科の教育法 A、B 必修 (指導法 A、B はカウントされない)
					数学科教育法 B(2)	
					数学科指導法 A(2)	
					数学科指導法 B(2)	
					理科教育法 A(2)	
					理科教育法 B(2)	
		理科指導法 A(2)			工業科教育法 A(2)	
理科指導法 B(2)	工業科教育法 B(2)					
情報科教育法 A(2)		情報科教育法 A(2)				
情報科教育法 B(2)	情報科教育法 B(2)					
道徳の指導法		道徳教育論(2)	中学校必修・高校選択科目			
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法	4	10400	生徒・進路指導論(2)	中学・高校免許必修科目
		教育相談の理論及び方法			教育相談(2)	中学・高校免許必修科目
第五欄	教育実習		中学校 6 高校 4	10500	教育実習セミナー(2) 教育実習 I(2) 教育実習 II(2)	中学・高校免許必修科目 中学・高校免許必修科目 中学校免許のみ必修
第六欄	教職実践演習		2	10600	教職実践演習(中・高)(2)	中学・高校免許必修科目

教科又は教職に関する科目

欄	総合演習		2	10700	教職総合演習(2)	中学校必修・高校選択科目
---	------	--	---	-------	-----------	--------------

注) 中学校免許取得の場合は、120 時間以上(3 週間～4 週間)、高校免許取得の場合は、60 時間以上(2 週間)の教育実習を行なう必要があります。

注) ■■■■ は、卒業単位に算入されます。したがって履修上限 48 単位に入ります。

注) 備考欄の必修は、取得しようとする免許状に対してであり、卒業するための必要要件ではありません。

注) 「道徳教育論」については高校免許のみの取得希望者が単位修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」としてカウントされます。